

『本願寺 山科別院』

全国の別院シリーズ その17



山科別院本堂

本願寺中興の祖と仰がれる蓮如上人ゆかりの聖地が、この山科別院である。

本願寺第8代宗主蓮如上人の時、1465（寛正6）年、京都東山・大谷本願寺が比叡山の僧徒により破却され、ご開山親鸞聖人のご真影は大津・近松御坊にご避難されていた。蓮如上人64歳の時、1478（文明10）年、近州・金森道西の願いにより、山科郷野村西中路に坊舎を建てられた。これが、山科本願寺のはじまりである。

山科本願寺は一説によれば、御影堂・阿弥陀堂を中心に43万坪ともいわれる広大な寺領を有し、「寺中広大無辺にして、莊嚴さながら仏國の如し」とうたわれた。その後、蓮如上人のご息男第9代実如上人、さらに第10代証如上人と続いて諸堂宇が整備され、寺内町は足の踏み場も無く、お念佛の声絶えることも無いと言われるほどにぎわいをみせていた。

1772（安永元）年3月、現在の本堂が建立され、続いて1782（天明元）年蓮如上人300回忌にあたって、鐘楼・太鼓楼、茶所等を増築された。

中宗堂は1823（文政8）年蓮如堂として、本堂の南に建立された。中宗堂にご安置されている蓮如上人像は、上人54歳のご自作として、永くご本山に伝えられてきた。1884（明治17）年4月、第21代明如上人により、山科別院中宗堂を本山中宗堂代と定められ、これよりこの御像は永く山科の地に安置されることとなった。



中宗堂にご安置されている蓮如上人像



「秋季彼岸会」 （善教寺本堂）

九月十六日（土）朝席：午前十時～

昼席：午後一時半～

講師 牛尾かおり師（鳶圭庵北区深川明光寺）

*送迎マイクロバスを運行します。

「宗祖聖人月忌・

門信徒祥月命日法要

（善教寺本堂）

九月十六日（土）午後一時半～

*毎月十六日に本堂において勤めております。

*秋季彼岸会法要の昼席にてお勤め致します。

「護持会報恩講」 （善教寺本堂）

十月二十八日（土）朝席：午前十時～

昼席：午後一時半～

*送迎マイクロバスを運行します。

講師 広幡康祐師（吳市安浦町信楽寺）



ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

メール zenkyo@otera.or.jp